



構造安全性能評価委員会 申請図書作成要領

2024年5月1日

ビューローベリタスジャパン株式会社

目 次

§ 1 . 提出図書一覧	1
§ 2 . 性能評価用提出図書 作成要領	2
§ 3 . 別添 作成要領	4
§ 4 . 別表および付表 作成要領	5
§ 5 . 追加検討資料 作成要領	7
§ 6 . 最終版図書 作成要領	8

§ 1. 提出図書一覧

構造安全性能評価委員会での性能評価の申請から性能評価完了後までの間に、下記に示す資料をご提出いただくこととなりますので、本要領及び関連する様式等に従いまして、ご用意いただきますようお願いいたします。

ご提出期日	ご提出図書	部数	作成要領又は書式	備考
第1回委員会の7営業日前まで	・性能評価申請書	1部	BVJ-001BA	申請書式ダウンロードより入手していただけます。 https://www.bvjc.com/ctc-info-service/form-download/
	・性能評価用提出図書	1部	本要領 § 2 参照	事前の内容確認用として使用いたします。
第1回委員会の2営業日前午前中まで	・性能評価用提出図書	7部※	本要領 § 2～4 参照 BVJ-002BA～004BA	委員会及び部会での検討資料として使用いたします。
第1回委員会の当日	申請者に申請内容の説明を行っていただきます。			
部会当日の2営業日前午前中まで	・指摘事項回答書及び追加検討資料	3部※	本要領 § 5 参照 BVJ-006BA	部会当日に内容確認をいたします。 追加資料が必要となる場合は併せてご用意ください。
部会当日	申請者に指摘回答内容の説明を行っていただきます。			
第2回委員会の2営業日前午前中まで	・性能評価用提出図書 ・指摘事項回答書及び追加検討資料	7部※	本要領 § 2～5 参照 BVJ-002BA～004BA, 006BA	委員会報告資料として使用いたします。第1回委員会及び部会の指摘を併せた資料をご用意ください。
第2回委員会の当日	担当の委員から資料に基づき報告を行います。			
大臣認定の申請	「性能評価の国土交通大臣認定申請の手続きについて」(当社ホームページ)をご参照ください。			
認定書の交付後1ヶ月以内	・最終版図書	2部	本要領 § 6 参照	1部は確認印を押印しお返しいたします。

※委員会ごとで部数の変更があります。

§ 2. 性能評価用提出図書 作成要領

1. 「性能評価用提出図書」の体裁について

- (1) A4 版見開き製本としていただき、1冊にまとめたものとしてください。(二つ穴ファイル閉じでも可) (図面等で A3 版となるものは折り込んでください。)
- (2) 表紙及び背表紙には下記の事項を記入してください。
 - ①件名 (建築物名称)
 - ②申請年月日 (第 1 回委員会の日付)
 - ③申請者名 (会社名)
 - ④設計者名 (会社名)

2. 「性能評価用提出図書」の目次及び構成について

下記に示す目次及び構成を基本としてください。なお、「別添」と「別表」の詳細につきましては、本要領の § 3 及び § 4 を参照してください。

性能評価用提出図書の目次及び構成	
◇	性能評価申請 (写) (BVJ-001BA)
◇	パース又は模型写真、配置図 (評価対象建築物がわかるもの)
◇	別添 (超高層建築物に係る構造方法) 又は (建築基準法第 20 条第 1 項第三号に掲げる建築物の構造方法) (BVJ-002BA) (1) 建築物概要及び構造概要 (2) 構造説明図
◇	別表 (BVJ-003BA) および付表 (BVJ-004BA) <ul style="list-style-type: none">・ 建築基準法第 20 条第 1 項第○号の認定に係る性能評価の内容・ 付表 1 構造検討概要書 ・ 付表 2 復元力特性概要書・ 付表 3 設備・維持管理概要 (注: 免震構造の場合のみ)・ 付表 4 長周期地震動による家具の転倒・移動防止対策する設計上の措置 (注: 長周期地震動対策建築物の場合のみ)
◇	目次
(1)	建築設計概要書
1-1	一般事項
	①建物名称 ②建築場所 ③地域・地区 ④用途 ⑤建築主 ⑥設計・監理者名 (一般、構造) ⑦施工者名 等
1-2	建築物概要
	①敷地面積 ②建築面積 ③延べ面積 ④基準階面積 ⑤容積率 ⑥階数 (地上、地下、塔屋) ⑦高さ関係 (軒の高さ、建築物の高さ、最高部高さ、基礎底深さ、杭支持深さ) ⑧基準階階高 ⑨構造種別 (基礎、骨組、床、耐震壁、ブレース、外壁、内壁等) ⑩特定天井概要 ⑪主要設備概要 (空調、衛生、電気、エレベータ等) 等
1-3	建築計画概要
	①敷地周辺環境 ②全体計画概要等
1-4	所要図面
	①配置図 ②各階平面図 ③主要立面図 ④主要断面図 ⑤主要矩計図 等
(2)	構造計画概要書
	主体構造及び架構形式、耐震・耐風設計方針、地盤及び建物支持条件、断面設計方針、施工計画と構造計画上の関係の概要

(3) 構造設計概要

- ①使用材料及び許容応力度
- ②固定荷重、積載荷重、積雪荷重及びその他の荷重に関する検討（固定荷重、積載荷重、積雪荷重等に関する構造計算書）
- ③設計用層せん断力の検討（層せん断力の分布形等）
- ④応力解析概要 ⑤主要応力図、検定比図、塑性率図 等
- ⑥部材設計（部材断面、継手、仕口等の設計）
- ⑦地下階及び基礎の設計
- ⑧耐震設計に関する検討（建築物に作用する地震力に関する構造計算書）
- ⑨耐風設計に関する検討（建築物に作用する風圧力に関する構造計算書）
- ⑩風圧、地震等に対する屋根ふき材、特定天井、外装材等の検討
- ⑪土砂災害特別警戒区域内における居室を有する建築物にあっては、土砂災害に対する検討 等

(4) 構造図（別添（2）構造説明図によるとして省略いただいて結構です。）

- ①基礎伏図 ②各階略伏図 ③軸組図 ④部材断面表 ⑤部材詳細図
- ⑥その他の特殊設計部分構造図 等

(5) 地盤調査概要

- ①地形・地質の概要 ②ボーリング（地盤）調査位置図
- ③ボーリング結果・柱状図（N値を含む地盤断面図）
- ④支持地盤の耐力判定資料
- ⑤その他必要に応じて、地下水位測定・孔内水平載荷試験・室内土質試験・P S 検層・常時微動測定結果等に関する資料 等

(6) 時刻歴応答解析概要

- ①時刻歴応答解析の方針（解析手法、使用プログラム）
- ②採用地震動（地震動の選択作成方法等）
- ③応答解析結果（応答最大加速度分布、応答最大層せん断力分布、応答最大転倒モーメント分布、応答最大層間変位（変形角）分布、応答最大塑性率分布及び構造計算書）等

(7) その他

7-1 施工計画概要（特殊な施工計画を要する建築物の場合）

- ①施工の基本方針
- ②施工管理計画（品質規準類及び管理体制）及び工法概要

7-2 実験及び調査報告書

実験又は特別な調査に基づいて構造計算及び検討を行った場合はその報告書等

7-3 特殊な材料（特殊な建築材料（平成12年建設省告示第1446号第1各号に掲げる建築材料で法第37条各号に該当しないものをいう。）にあっては、構造安全性に係る材料に限る。）の概要

- ①法第37条第二号の規定により認定された材料の場合、その認定書の写し（別添を含む。）
- ②①以外の材料の場合、その品質及び品質管理

7-4 特殊な装置の概要及び維持管理概要

- ①特殊な装置（免震層、制振部材、アクティブ制振装置、融雪装置、等）の概要
- ②申請物件における特殊な装置に関する維持管理体制及び日常点検、定期点検、臨時点検項目及び判断基準等

7-5 仕様規定に適合しない構造方法に対する検討書

耐力及び靱性その他の建築物の構造特性に影響する力学特性値（当該部分及びその周囲の接合の実況に応じた加力試験、当該部分を構成するそれぞれの要素の剛性、靱性その他の力学特性値及び要素相互の接合の実況に応じた力及び変形の釣合いに基づく構造計算）

付表 3 設備・維持管理概要

(免震構造の場合にのみ作成してください)

付表-4

付表 4 長周期地震動による家具の転倒・移動防止対策する設計上の措

--

(長周期地震動対策建築物の場合のみ作成してください)

付表-5

§ 5. 追加検討資料作成要領

以下の項目について A4 版で一冊にまとめてください。

1. 表紙（可能であれば背表紙にも同じものを記入してください。）
 - ①委員会名、②件名、③資料名、④日付（報告委員会の日付）、
 - ⑤申請者名・設計者名（会社名）
2. 目次
3. 追加検討項目一覧表（下記の書式例を参考に A4 横使いにて作成してください。）
4. 追加検討資料
5. 訂正事項一覧表（下記の書式例を参考に A4 横使いにて作成してください）
6. 訂正事項（申請時の構造設計概要書からの訂正箇所が分かるようにしてください。）
7. 指摘事項回答書（委員会、部会）

追加検討項目一覧表（書式例）

検討項目	検討内容	検討結果	変更内容	ページ
追加検討○ 外装材設計用 風荷重	外装材設計用風荷重を示した。またバルコニー側のハイサッシを検討した。	外装材の風荷重を告示に基づいて算定し、バルコニー側のサッシを複層ガラスで設計した。		追○-追○

訂正事項一覧表（書式例）

ページ	箇所	現状	訂正及び追加内容	
P○-○	構造図○	D 断面 FS3 の t=2900 の範囲：AY3 側から 1000	訂正	D 断面 FS3 の t=2900 の範囲：AY3 側から 1800 に修正（t=2900 の範囲拡大）

§ 6. 最終版図書 作成要領

1. 最終版図書の装丁

- 1冊にまとめたものとしてください。厚さが10cmを超えるような場合は、両面コピーを利用してください。
- A4版見開き製本用として正・副2部ご用意ください。見開き製本の出来ない大きい図面（青焼きは避けてください）等は折り込んでください。
- 表紙、中表紙、背表紙の文字のレイアウトは、下図に示した通りです。

2. 最終版図書の内容

- 最終版図書とは、委員会及び部会でご提出いただいた説明用図書全般で、指摘された事項等について変更、修正、差し替え等を行った最終の図書です。
- 図書の構成は以下の順番を参考にしてください。

- 中表紙
 - パースおよび模型写真、配置図（評価対象建築物がわかるもの）
 - 大臣認定書（写し）
 - 性能評価書（写し）
 - 別添（BVJ-002BA、構造説明図）
 - 別表、付表（BVJ-003～004BA）
 - 建築設計概要書
 - 構造計画概要書
 - 構造設計概要
 - 構造図
 - 地盤調査概要
 - 時刻歴応答解析概要
 - その他（施工計画概要、特殊な材料及び装置の概要等）
 - 追加検討書（追加検討項目一覧表、追加検討資料）
 - 訂正事項一覧（訂正事項一覧表、訂正資料）
 - 指摘事項回答書（受付時委員会、部会、報告時委員会）
- 大臣認定申請書類
- 性能評価用提出図書

※性能評価用提出図書については、全て差し替え、訂正等終了したものとしてください。

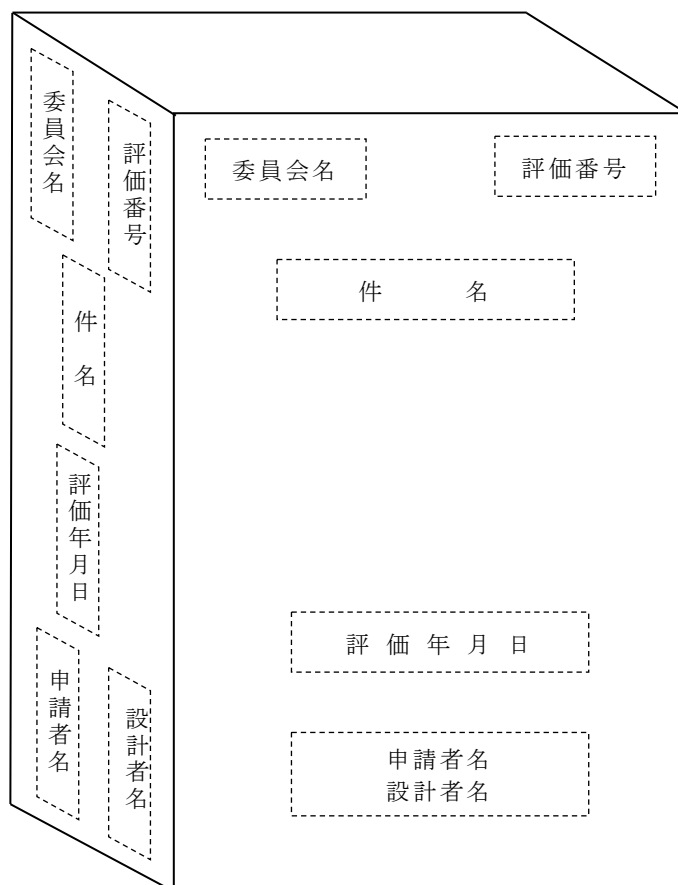
- なお、別冊で構造計算書を1部ご準備ください。製本ではなく二つ穴閉じファイル等でも結構です。

上記要領で、2部作成し、担当職員宛にご提出ください。担当職員により内容確認を行った上で、1部に確認済みの印を押印し返却いたします。

なお、残り1部については、当社保管用とさせていただきますのでご了承ください。

※表紙、中表紙、背表紙の文字のレイアウト例

(委員会名は、構造安全性能評価委員会としてください。)



制定：平成16年10月 1日
改訂：平成19年 3月 1日
改訂：平成19年 7月20日
改訂：平成26年 4月 1日
改訂：平成27年 6月 1日
改訂：平成28年 6月13日
改訂：平成29年 4月 1日
改訂：令和 3年 5月 1日
改訂：令和 5年 3月10日
改訂：令和 5年 6月 1日
改訂：令和 6年 5月 1日